

学校⇔家庭 ネットで連携密に

丸岡高PTA テレビ会議活用



テレビ会議システムを利用してPTA役員と意見交換する丸岡高の島田校長(右) = 20日夜、坂井市の同校

オンライン朝の会試行へ

新型コロナウイルス感染症拡大で県内でも不要不急の外出自粛が続く中、坂井市の丸岡高で20日夜、テレビ会議システムを利用したPTA役員とのオンライン会合が開かれた。ネットを通して学校と保護者をつなぎ、家庭での生活や学習に関する課題について意見交換した。23日には担任と生徒が同システムで「朝の会」を開き、近況を報告し合う。(山口晶永)

PTA側からの提案を受け、県教育総合研究所の協力を得て初めて実施。オンライン会合は午後7時から始まり、島田秀校長と役員10人がスクリーン上で対面した。生徒の生活状況について、保護者からは「リズム

がぐちゃぐちゃ」「スマホを見る時間が増え、体力をもてあましている」といった不安の声が上がった。学習面は明確な目標を持っていない状況で、学校から出される課題の回答がほしいとの要望が出た。学習や進路の相談窓口が必要との指摘に対し、島田校長は「すぐに対応したい」と応じた。

また保護者からは、大型連休以降も休校が続く可能性に触れる声も相次いだ。会合後、PTA会長の中出奈津枝さん(49)は「学校と

は試験的に3年生の1クラスで「朝の会」をオンライン上で実施し、課題の進捗具合や健康状態を確認する取り組みを行う。島田校長は「家庭と双方

思いを共有することで子どもたちの生活、学習面について方向性があっていけば」と話した。

丸岡高では、生徒たちの生活リズム改善に関する相談が多いことから、23日に

向で行う遠隔会議のマニュアルづくりを進め、他校にもこのノウハウを発信したい」と話していた。PTAとの遠隔会議は今後も定期的に実施していく予定。